

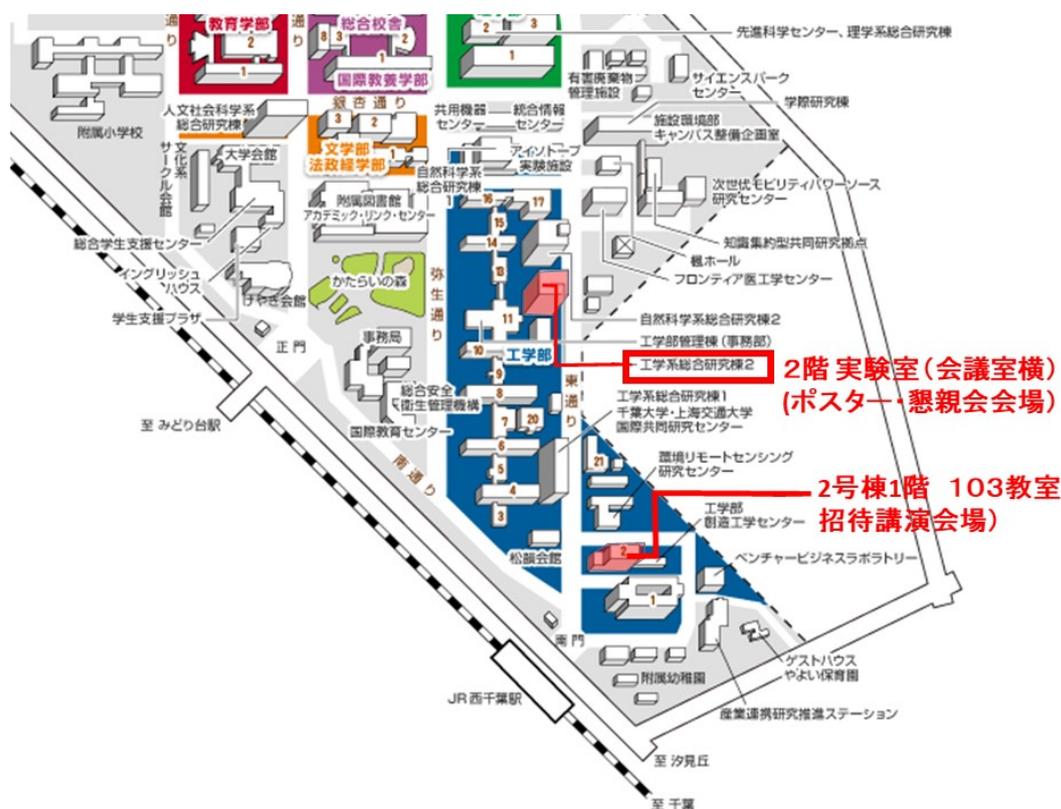
2018年2月15日(木) デジタルバイオカラー研究会 <http://biocolor.umin.ac.jp/>

第5回デジタル生体医用画像の「色」シンポジウム：生体イメージングの革新とその実地・臨床応用

会場：千葉大学西千葉キャンパス

○基調講演・招待講演は、工学部2号棟103室

○一般講演(ポスター)・懇親会は、工学系総合研究棟2実験室



参加費：5000円(学生無料)

(配布資料の関係で、下記の要領で、できるだけ事前申込をお願いします。)

参加申込：参加者名，所属，メールアドレスを。

実行委員長 津村 徳道 <tsumura アトマーク faculty.chiba-u.jp>

まで，2月12日(月)正午まで，お送りください。

主催：デジタルバイオカラー研究会

共催：千葉大学グローバルプロミネント研究基幹リーディング研究育成プログラム

協賛：一般社団法人人工生命とロボット国際学会

協賛：日本光学会・情報フォトンクス研究グループ

(司会, 進行) 千葉大学・津村徳道

9時 ~9時20分 開会の挨拶・バイオカラー研究会 2ndStage までの道のり
(国際医療福祉大学・西堀眞弘先生)

9時20分~10時 招待講演① 高時間分解 CMOS イメージセンサや小型複眼カメラ
を用いた生体イメージング (静岡大学・香川景一郎先生)

10時 ~10時40分 招待講演② カメラを用いた非接触生体計測と医用応用
(千葉大学・福西宗憲様)

休憩 5分

10時45分~11時25分 招待講演③ 血管コンプライアンスの非接触計測
(千葉大学・中野和也先生)

11時25分~12時05分 招待講演④ 非接触動画撮影による静脈認証システム
(東京工業大学・鈴木裕之先生)

昼食

13時 ~14時 基調講演 生体ビッグデータと Precision Medicine
(東京医科歯科大学) 田中博先生

基調講演要旨: ゲノムを含むオミックスデータ、メタゲノムや環境データなどの医療ビッグデータの統合解析から、ひとつの疾患がいくつもの異なる病因サブグループから構成されているだけでなく、今まで全く無関係とされていたが実は発症様式が異なるだけで病因分子が共通の疾患群も明らかにされつつある。したがって色情報を含む生体情報の解析においても、従来の診断分類を所与のものとして、今後は各々のビッグデータに内在する構造を、教師なしで炙り出すデープレニングなどの手法が必須となる。

14時 ~14時40分 招待講演⑤ 指間膜の組織酸素飽和度計測 (仮)
(千葉大学・羽石秀昭先生)

休憩 5分

14時45分～15時25分 招待講演⑥ デジタル病理画像における特徴量計測と色標準化
(東京工業大学・山口雅浩先生)

15時25分～16時05分 招待講演⑦ 非接触生態情報と漢方医学
(金沢大学・小川恵子先生)

16時10分～ 一般講演(ポスター) &懇親会 (同時開催)

ポスター発表リスト

1. LEDを用いた外科手術用照明スペクトルの最適設計,
倉渕瑤子*1, 村井希名*1 中野和也*2, 大西峻*2, 中口俊哉*2, 羽石秀昭*2
*1:千葉大学大学院工学研究科, *2:千葉大学フロンティア医工学センター
2. 植物遺伝資源の画像と収集地点の環境情報との関連性推定システムの開発,
竹谷勝、山崎福容, 農研機構 遺伝資源センター 保存技術・情報チーム
3. Analysis of quantitative phase obtained by digital holography on H&E stained pathological samples.,
Syukran Hakim Bin Norazman*1, Tomoya Nakamura*1*2, Fumikazu Kimura*3, Masahiro Yamaguchi*1
*1 School of Engineering, Tokyo Institute of Technology, *2 PRESTO, Japan Science and Technology Agency, *3 Department of Health and Medical Sciences, Shinshu University
4. 2バンド近赤外動画像を用いた暗所における非接触脈波信号計測,
三橋亮太*1, 岡田弦樹*2 栗田幸樹*2, 香川景一郎*3, 川人昇二*3, Chawan Koopipat*4, 津村徳道*5
*1 千葉大学大学院融合理工学府創生工学専攻, *2 千葉大学大学院融合科学研究科, *3 静岡大学電子工学研究所, *4 王立チュラロンコン大学理学部画像印刷学科, *5 千葉大学大学院工学研究院
5. カメラによる情動解析のための鳥肌生起に伴う肌のキメの変化の追跡,
内田美尋*1, 赤穂莉奈*2, 小川恵子*3, 津村徳道*4
*1 千葉大学大学院融合理工学府, *2 千葉大学大学院融合科学研究科, *3 金沢大学附属病院漢方医学科, *4 千葉大学大学院工学研究院

6. 顔画像における病態の評価値推定,
松下風太*1, 清光薫*2, 小川恵子*3, 津村徳道*4
*1 千葉大学大学院融合理工学府, *2 千葉大学大学院融合科学研究科, *3 金沢大学附属
病院漢方医学科, *4 千葉大学大学院工学研究院

7. 浮腫評価を目的としたデプスカメラによる下肢の体積測定,
清光薫, 柿沼明宏, 高橋浩, 上条直裕, 小川恵子, 津村徳道
千葉大学, 金沢大学など

8. RGB カメラによる心拍変動計測を用いた鍼治療の自律神経系への影響評価
清光薫, 栗田幸樹, 津村徳道, 菅原麻衣, 小笠原千絵, 三島怜, 小川恵子
千葉大学, 金沢大学など.

9. A Time-Resolved Near-Infrared Spectroscopy using Custom CMOS Lock-In
Pixel Image Sensor,
De Xing Lioe, Zhonghui Liu, Min-Woong Seo, Masatsugu Niwayama, Masashi
Hakamata, Keita Yasutomi, Keiichiro Kagawa, Yasuko Fukushi, Seiji Yamamoto,
Shoji Kawahito
Shizuoka University, Hamamatsu University School of Medicine

10. Effectiveness of Color Correction on Quantitative Analysis of Histopathological
Images Acquired by Different Whole Slide Scanners ,
Maulana Abdul Aziz*1, Tomoya Nakamura*2*3, Masahiro Yamaguchi*2, Tomoharu
Kiyuna*4, Yoshiko Yamashita*4, Tokiya Abe*5, Akinori Hashiguchi*5,
Michiie Sakamoto*5
*1 Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering, Tokyo Institute of
Technology *2 School of Engineering, Tokyo Institute of Technology *3 PRESTO,
Japan Science and Technology Agency *4 Medical Solutions Division, NEC
Corporation *5 Department of Pathology, Keio University School of Medicine